

酒田市スポーツ推進計画（案）

（表紙）

2019年4月

酒田市教育委員会

はじめに

教育長あいさつ文

酒田市教育委員会
教育長 村上 幸太郎

酒田市スポーツ推進計画（案）

<目 次>

第1章 計画の基本事項

1	計画策定の趣旨	1
2	計画策定の背景	1
3	スポーツの定義	2
4	計画の位置付け	2
5	計画期間	3

第2章 スポーツをとりまく現状と課題

1	現状・課題	4
2	スポーツ団体	5
3	スポーツ施設の利用状況	8
4	児童生徒の体力・運動能力の現状	9

第3章 基本方針・基本施策

1	基本的な考え方	10
2	施策体系	10
3	基本目標・推進項目	11
	基本目標Ⅰ 誰もが楽しめる生涯スポーツ	11
	Ⅰ-(1) 誰もが楽しめるスポーツ機会の創出	
	Ⅰ-(2) 子どものスポーツ活動の推進	
	Ⅰ-(3) 18歳からのライフステージに応じたスポーツ活動の推進	
	Ⅰ-(4) 障がい者のスポーツ活動の推進	
	基本目標Ⅱ 感動と活力に満ちた競技スポーツ	15
	Ⅱ-(1) トップアスリートの育成・強化の推進	
	Ⅱ-(2) 競技スポーツに対する推進体制の充実	
	Ⅱ-(3) トップレベルのスポーツに触れる機会の創出	
	基本目標Ⅲ スポーツによる賑わいとまちづくり	18
	Ⅲ-(1) スポーツツーリズムの推進	
	Ⅲ-(2) スポーツを通じた地域コミュニティの維持・再生	
	Ⅲ-(3) ホストタウン登録におけるニュージーランドとの交流	

基本目標Ⅳ 安全安心なスポーツ活動のための環境整備	21
Ⅳ-(1) スポーツ施設の整備充実等	
Ⅳ-(2) スポーツ施設の利用促進	
Ⅳ-(3) 安全なスポーツ活動の推進	

第4章 計画の推進・進捗管理

1 計画の推進体制	24
2 計画の進捗管理	24

参考資料

(掲載予定)

- 1 酒田市スポーツ推進審議会に関する条例、委員名簿
- 2 計画の策定経過
- 3 アンケート結果
- 4 参考資料（データ集）

第1章 計画の基本事項

1 計画策定の趣旨

少子高齢化を伴う人口減少によって、体力向上と健康増進の役割に加えて、地域経済の活性化やコミュニティ^{*1}の再生など、スポーツの果たす役割への期待はますます大きくなっています。

酒田市教育委員会（以下、「市教育委員会」という。）は、平成25年度から「知力 体力 いきいき市民～ひとり1スポーツで元気なまちづくり～」をスローガンに掲げ、市民の誰もが心身の健康の保持増進を図り、健康で活力に満ちた長寿社会の実現を目指して、スポーツの振興に取り組んできました。

この間、2020東京オリンピック・パラリンピックの開催決定、国の「第2期スポーツ基本計画」^{*2}の策定など、全国的にスポーツ振興への機運が高まってきています。

本市のめざすまちの姿を示した「酒田市総合計画」（計画期間：平成30年度（2018年度）～2027年度）^{*3}も「賑わいも暮らしやすさも共に創る公益のまち酒田」を合言葉にスタートしました。

以上のことから、市教育委員会は、スポーツを取り巻く状況の変化を踏まえ、これまでの取り組みを継承しつつ、スポーツ推進の新たな指針として「酒田市スポーツ推進計画」（以下、「本計画」という。）を策定します。

2 計画策定の背景

（1）わが国の動向

国においては、「スポーツ振興法」が50年ぶりに全面改正され、スポーツ推進のための基本的な法律として「スポーツ基本法」が平成23年8月に施行されました。

同法の施行に伴い、平成24年3月に「スポーツ基本計画」が策定され、平成29年3月にはスポーツ基本計画の次期計画として、「第2期スポーツ基本計画」が策定されました。

（2）山形県の動向

山形県では、平成25年度から「山形県スポーツ推進計画」（計画期間：平成25年度から

^{*1} 地域課題を自ら解決しようとする地縁に基づく自治組織及び一定区域における総合的な自治組織。

^{*2} スポーツ基本法に示された理念の実現に向けて、中長期的なスポーツ政策の基本方針と2017年度からの5年間に総合的かつ計画的に取り組む施策が示されている。2017年3月に策定。

^{*3} 行政と市民がめざすまちの姿を共有し、一丸となってまちづくりに取り組むための指針であり、市の最上位計画として位置づけられるもの。

の10年間)に基づき、スポーツを通じた豊かな生活の実現に向けて、年齢や性別、障がいの有無等を問わず、広く県民が、それぞれの関心、適性等に応じてスポーツに参画することができる環境整備に取り組んできました。計画期間の後半に向け、より山形県の実情に則した計画にするため、平成30年6月に後期改定計画を策定しました。

3 スポーツの定義

本計画における「スポーツ」とは、競技としてルールに則り他者と競い合い自らの限界に挑戦する競技スポーツに加え、散歩やダンス・ウォーキング・健康体操・ストレッチなど比較的軽い運動、健康づくりや体力づくりを目的とする通勤・通学時の徒歩や自転車、キャンプ活動など、目的意識を持った身体活動を含むものとします。

また、スポーツ観戦等の「みるスポーツ」や、スポーツイベントのボランティア活動等の「ささえるスポーツ」も含んでいます。

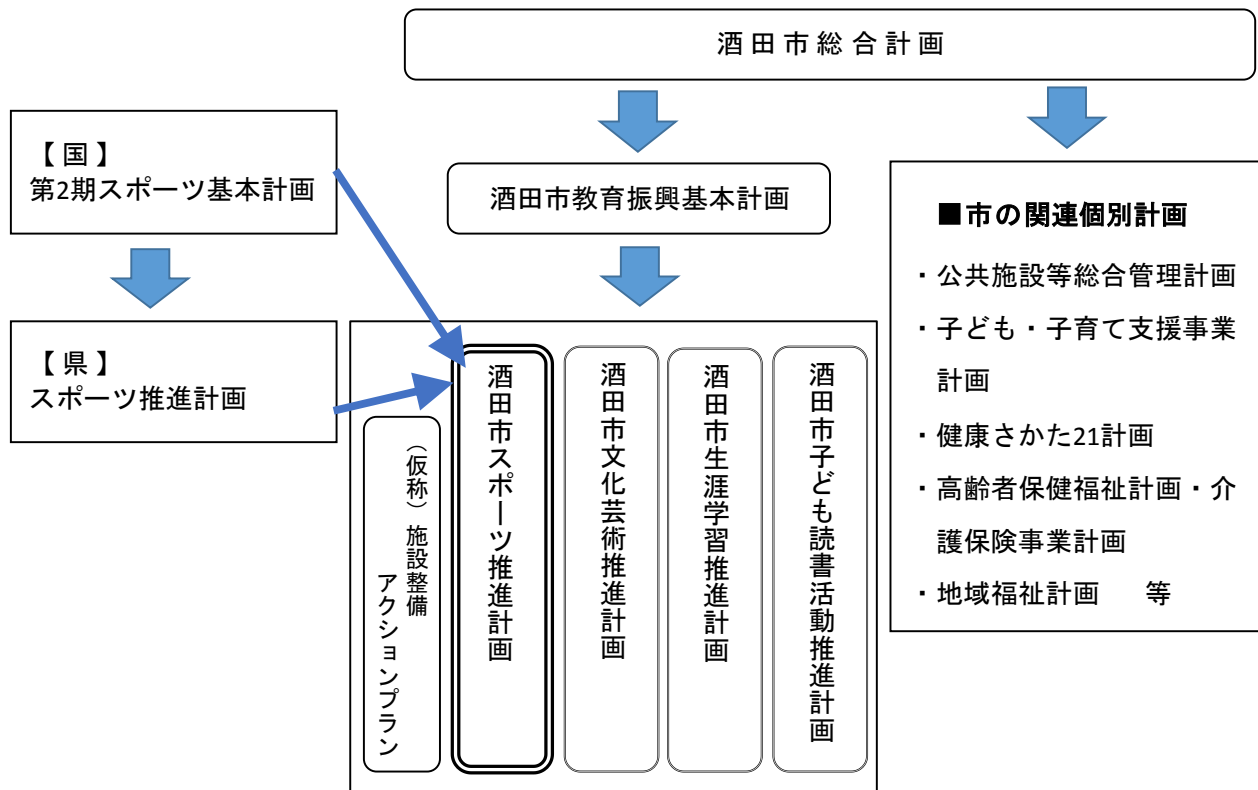
なお、「スポーツ」という表記には上記をすべて含めていますが、内容をより適切に表す必要のある場合は「運動」と表記します。

4 計画の位置付け

本計画は、スポーツ基本法第10条の規定に基づき、国の「第2期スポーツ基本計画」及び山形県の「山形県スポーツ推進計画」を参酌し、地方の実情に則したスポーツの推進に関する計画として策定するものです。

また、上位計画である「酒田市総合計画」「酒田市教育振興基本計画」を推進する個別計画として、本市が策定する各個別計画と連携・整合を図りながら策定します。

なお、本計画上の「基本目標IV-(1)スポーツ施設の整備充実等」の推進にあたり、既存施設の現状や課題を把握し、今後のスポーツ施設のあり方等について、具体的な方針を定め、市民のニーズに対応した計画的かつ効率的な施設整備に取り組むためのアクションプランを別に策定します。



5 計画期間

本計画の期間は、2019年度（平成31年度）から2029年度までの11年間とします。

	2017 (平成29年度)	2018 (平成30年度)	2019 (平成31年度)	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029
大規模大会		冬季オリ・パラ (平昌)	ラグビーW杯	夏季オリ・パラ (東京)	ワールド マスターズ ゲーム関西	冬季オリ・パラ (北京)							
国	第2期スポーツ基本計画（2017年度～2021年度）												
山形県	山形県スポーツ推進計画（2013年度～2022年度）												
酒田市			全日本社会人リフト トリス選手権大会	全国高校総体 体操競技大会	全日本シニア体 操競技選手権大会								
	酒田市総合計画（2018年度～2027年度）												
	酒田市教育振興基本計画（2020年度～2029年度）												
	見直し					酒田市スポーツ推進計画（2019年度～2029年度）							

※酒田市における大規模大会については現在の予定です。

第2章 スポーツをとりまく現状と課題

1 現状・課題

(1) 現行の計画を踏まえて

本市では、運動を習慣にしている人としていない人の二極化が見られることから、市民がそれぞれのライフステージに応じて運動に取り組める環境の整備と、運動をしていない人への積極的な働きかけによって、延び続ける平均寿命^{*4}と、健康寿命^{*5}との差を縮めていく必要があります。

また、子どもに関しては、日常的な身体運動が減少し、体力が低下してきています。

このことを踏まえ、これまでスポーツに関わってこなかった人に、スポーツを「する」「みる」「ささえる」機会に参画してもらうことが重要となっています。

身体運動の増加、運動習慣の定着は、生活習慣病^{*6}の予防や良質な睡眠、うつ病予防など心の健康とも深い関わりがあり、各年代で気軽に取り組めるウォーキングやストレッチ、筋力トレーニング等の運動を、民間を含めた関係機関との連携のもと推進していく必要があります。

競技力の向上としては、全国に通用するトップアスリート^{*7}を育成するために、中学校や高等学校における年代に応じた選手の育成と強化及びスポーツ環境の整備が課題となっています。

施設のあり方に関しては、安全で快適な活動の場を提供するため、老朽化した施設の計画的な改修、施設の適正な管理、適正な配置を長期的な視点で検討する必要があります。

(2) アンケートから

①市民アンケート（対象者 1,000 名、回答者 370 名）

日頃、運動不足を感じている人の割合は約8割となっています。運動やスポーツが好きな人や関心がある人は6割を超えていますが、ほとんど運動をしない人が5割弱となっています。運動を行う動機付けとしては、「一緒に行く仲間がいれば」や「気軽に参加できる教室等があれば」などという意見が多くありました。

今後の施設整備については、屋内競技施設やトレーニング・フィットネス施設の整備要望が多くありました。

*4 0歳の平均余命、あるいは出生時における平均余命。

*5 介護を受けたり寝たきりになったりせず日常生活を送れる期間。

*6 偏った食事や喫煙・飲酒・運動不足などの生活習慣に起因すると考えられる病気の総称。

*7 その競技で最高水準の実力を認められている運動選手。

②小・中学生アンケート（対象者 1,716 名、回答者 1,628 名）

運動やスポーツが好きな人や実際にしたいという人の割合は、小・中学生とも 6 割を超えています。一方で、運動やスポーツをしていないという人との二極化の傾向がみられます。

運動やスポーツをしない理由としては、運動が嫌い・苦手、やりたい種目がない、塾などで忙しいという理由が高くなっています。

③体育協会加盟団体アンケート（対象 30 団体、回答 20 団体）

競技団体に対するアンケートの結果として、競技人口の減少、競技力の低下を感じている団体が半数以上となっています。競技力低下の要因としては、施設が足りない、施設・設備の老朽化や強化費が少ないことがあげられています。

また、指導者については、育成が困難なことや高齢化が課題となっています。

2 スポーツ団体

本市には、スポーツを推進するにあたり多様なスポーツ団体*8があり、より多くの市民が関心や興味、適性等に応じて、生涯にわたりスポーツに親しむ機会を提供しています。市内のスポーツ団体等の主な活動状況は次のとおりです。

（平成 31 年 4 月 1 日現在）

スポーツ団体	備考
<p>(1) 酒田市体育振興会</p> <p>市内にある地区体育振興会相互の親睦、連絡提携につとめ、市民スポーツの普及、振興に寄与しています。</p> <p>【主な活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地区住民を対象とした運動会やスポーツ教室等の開催、運営。 ※地区運動会やグラウンドゴルフ大会・カローリング大会 輪投げ大会・ウオーキング大会 他 ・市民体育祭の競技運営及び競技内容等の検討 ・酒田市巡回駅伝競走大会のコース設定の検討及び競技運営 等 	<p>市内各地 区体育振興会の数 26 組織</p>
<p>(2) 酒田市スポーツ推進委員会</p> <p>住民のスポーツ推進のために地区体育振興会との連携を図り、協力しながら各種講習会で習得した知識・技術を活かし、地域スポーツの振興及びコー</p>	<p>委嘱人数 80 人</p>

*8 スポーツ基本法第 2 条第 2 項において、「スポーツの振興のための事業を主たる目的とする団体をいう」とされており、住民が主体的に運営する地域スポーツクラブ等を広く含むもの。

<p>ディネーターとしての役割を果たしています。</p> <p>【主な活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地区住民を対象とした運動会やスポーツ教室等の開催、運営。 ※地区運動会やグラウンドゴルフ大会・カローリング大会 輪投げ大会・ウォーキング大会 他 ・体力測定会の開催 ・ニュースポーツ大会の開催 等 	
<p>(3) 公益財団法人 酒田市体育協会</p> <p>加盟団体と連携しながら、スポーツ活動を通して健康体力の向上と競技力の向上を図っています。また、競技団体の育成強化及び、スポーツ指導者の育成と資質向上にも努めています。</p> <p>【主な活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ教室事業の開催及びスポーツイベントの推進 ・国民体育大会出場者への支援 ・競技団体の育成と強化 ・各種目スポーツ指導者の育成と資質向上への支援 等 	<p>加盟競技 団体数</p> <p>30 団体</p>
<p>(4) 総合型地域スポーツクラブ^{*9}</p> <p>酒田市内の中学校区を基本エリアとして設立されており、幅広い世代の人々が各自の興味や関心、競技レベルに合わせて「いつでも どこでも だれでも いつまでも」様々なスポーツに触れることができる機会を提供しています。</p> <p>【団体の名称とエリア】 ※ () 内は対象エリア</p> <ol style="list-style-type: none"> ①酒田市スポーツクラブ (全市) ②希望ヶ丘体育文化振興会 (一中学区) ③六華スポーツクラブ (六中学区) ④鳥海ふれあいスポーツクラブ (上田地区・本楯地区・南遊佐地区) ⑤きらり川南スポーツクラブ (四中学区) ⑥やわたY-Yクラブ (八幡地区) ⑦みなスポ松山 (松山地区) ⑧ひらた目ん玉スポーツクラブ (平田地区) ⑨総合型地域スポーツクラブ 元気王国 (市内全域) 	<p>登録数</p> <p>9 団体</p>

^{*9} 地域住民が主体的・自主的に組織・運営する非営利なスポーツクラブのこと。特定のスポーツを行う単一型の地域スポーツクラブと異なり、複数の種目について個々のレベルや趣味に応じてプログラムが選べるように構成されている。

<p>5) 酒田市スポーツ少年団本部</p> <p>学校活動以外のスポーツ活動を通して、スポーツ少年団に関する事項を研究・協議し、青少年の心身の健全な育成並びに指導者及び団員相互の親睦を図っています。</p> <p>【主な活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ少年団の育成、組織化の推進 ・スポーツ少年団活動の調査研究 ・酒田市スポーツ少年団本部大会 (サッカー・野球・バスケットボール・バレーボール・剣道・卓球) ・運動適性テスト(体力測定)の実施 ・酒田・遊佐交流大会 ・認定員養成講習会 等 	<p>登録団数 86 団</p> <p>登録人数 1,577 人</p>
--	--

3 スポーツ施設の利用状況

利用者数（人）

No.	施設名	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
1	国体記念体育館	77,201	173,938	93,237	92,308
2	親子スポーツ会館	45,237	46,805	47,383	49,049
3	武道館	56,197	56,402	44,669	46,503
4	相撲場	145	200	140	400
5	亀ヶ崎記念会館	11,528	10,452	9,280	8,772
6	市体育館	12,780	15,134	16,068	16,400
7	スワンスケートリンク	24,187	24,940	23,762	20,503
8	勤労者体育センター	21,412	22,010	23,376	24,870
9	南体育館	12,404	13,785	12,854	13,599
10	鳥海地区体育館	585	759	803	469
11	八幡体育館	19,505	20,038	22,983	22,727
12	修道館	2,720	1,745	920	692
13	松山体育館	10,911	12,361	11,125	8,727
14	平田B & G 体育館	17,954	17,167	15,541	16,113
15	平田体育館	4,136	4,087	5,779	1,964
16	光ヶ丘陸上競技場	52,853	72,169	73,632	77,565
17	光ヶ丘野球場	9,744	14,488	12,013	14,961
18	屋内練習場	13,734	17,168	16,534	18,200
19	光ヶ丘球技場	5,771	4,748	4,682	4,096
20	光ヶ丘多目的グラウンド	5,482	4,244	4,543	4,479
21	飯森山多目的グラウンド	11,086	12,066	10,419	12,690
22	南遊佐グラウンドゴルフ場	9,042	8,720	8,886	7,639
23	光ヶ丘プール	182,850	172,498	160,322	158,235
24	山小舎	90	101	98	157
25	八森野球場	6,119	7,225	5,625	6,366
26	八森サッカー場	1,234	904	1,700	2,514
27	八森パークゴルフ場	8,394	8,793	9,635	11,005
28	八森グラウンドゴルフ場	4,979	4,881	4,943	4,683
29	八森ゴルフ練習場	24,617	25,109	24,938	24,306
30	八森キャンプ場	629	810	606	428
31	外山キャンプ場	234	316	356	401
32	松山多目的運動広場	4,086	5,090	4,304	3,355
33	松山スキー場	4,032	2,910	2,803	3,078
34	松山人工ゲレンデ	2,583	2,407	1,829	872
35	平田スキー場	1,239	618	623	1,017
36	眺海の森グラウンド	1,960	1,667	2,109	1,622
37	平田B & G プール	3,500	3,715	3,898	3,524
38	平田B & G ヨットカヌー場	1,573	1,780	1,594	1,445
39	国体記念テニスコート	28,361	29,414	25,785	27,397
40	光ヶ丘テニスコート	43,884	43,667	41,837	37,473
41	八森テニスコート	2,676	2,285	3,419	3,564
42	眺海の森テニスコート	93	44	21	32
43	高畑グラウンドゴルフ場	—	—	3,187	3,944
	合計	747,747	867,660	758,261	758,144

4 児童生徒の体力・運動能力の現状

体力・運動能力調査の結果から、全国、山形県及び本市における種目別平均値を次の表に示します。上体起こしでは5年男子を除き全ての学年で全国や山形県の平均値を上回っています。しかし、握力では小学生男子の全ての学年で全国や山形県の平均値を下回っています。小学生女子では全国や山形県の平均値を上回る種目が目立っています。

中学生男子では4種目が山形県の平均値を上回っています。中学生女子では、約半数の種目で全国や山形県の平均値を上回っています。また、握力と20mシャトルランでは中学生男女で全国や山形県の平均値を下回っています。

小学生男子	男子																	
	1年生			2年生			3年生			4年生			5年生			6年生		
	H30市	H29県	H29全国	H30市	H29県	H29全国	H30市	H29県	H29全国	H30市	H29県	H29全国	H30市	H29県	H29全国	H30市	H29県	H29全国
対象	H30市	H29県	H29全国	H30市	H29県	H29全国	H30市	H29県	H29全国	H30市	H29県	H29全国	H30市	H29県	H29全国	H30市	H29県	H29全国
握力 (kg)	8.81	9.79	9.36	11.04	11.31	11.10	12.89	13.22	13.08	14.43	14.84	14.90	16.73	17.05	16.90	19.77	21.10	20.02
上体起こし (回)	12.89	12.74	11.54	15.06	14.59	14.42	16.75	16.65	16.68	19.32	18.43	18.53	20.42	20.56	20.72	22.65	22.37	22.05
長座体前屈 (cm)	25.96	25.80	26.18	26.25	27.20	27.82	30.58	29.09	29.48	30.64	31.01	31.23	30.50	32.22	33.62	33.36	33.92	35.43
反復横跳び (点)	27.55	28.46	27.94	33.31	32.35	32.70	37.76	35.63	36.45	40.08	40.07	40.28	42.75	43.44	43.94	46.34	47.16	46.98
20mシャトルラン (回)	18.47	20.52	18.64	30.29	30.72	29.77	37.35	40.23	38.49	47.59	47.38	48.64	54.75	55.48	56.85	61.64	65.21	64.48
50m走 (秒)	11.73	11.81	11.44	10.95	10.83	10.61	10.49	10.17	10.02	9.89	9.88	9.55	9.53	9.48	9.19	9.25	9.06	8.79
立ち幅跳び (cm)	114.58	115.11	114.92	123.90	126.61	127.37	136.47	136.39	135.63	145.20	143.10	146.55	150.71	154.27	155.43	160.30	164.90	165.19
ボール投げ (m)	8.06	8.86	8.62	11.23	12.02	12.36	15.73	16.29	15.94	19.45	19.54	20.02	22.57	23.16	23.51	26.76	26.53	26.81

小学生女子	女子																	
	1年生			2年生			3年生			4年生			5年生			6年生		
	H30市	H29県	H29全国	H30市	H29県	H29全国	H30市	H29県	H29全国	H30市	H29県	H29全国	H30市	H29県	H29全国	H30市	H29県	H29全国
対象	H30市	H29県	H29全国	H30市	H29県	H29全国	H30市	H29県	H29全国	H30市	H29県	H29全国	H30市	H29県	H29全国	H30市	H29県	H29全国
握力 (kg)	8.70	8.98	8.79	10.85	10.51	10.42	12.22	12.43	12.31	14.21	14.17	14.13	16.28	16.84	16.71	18.93	19.60	19.58
上体起こし (回)	12.07	12.00	11.29	14.68	13.61	13.78	17.08	16.33	15.90	19.36	17.89	17.89	20.83	19.29	19.35	21.88	20.45	20.44
長座体前屈 (cm)	28.83	27.33	28.15	31.20	30.68	30.68	34.29	32.59	32.65	35.41	33.95	35.25	35.77	35.86	37.90	39.12	39.12	39.96
反復横跳び (点)	26.93	26.79	26.98	31.11	31.23	31.26	35.97	34.89	34.55	39.97	39.32	38.57	42.11	41.42	41.40	44.80	44.14	44.35
20mシャトルラン (回)	16.73	16.90	15.80	25.12	24.26	23.05	32.74	31.82	29.17	41.02	39.73	37.55	46.82	47.29	45.54	51.06	52.07	50.94
50m走 (秒)	11.89	12.02	11.77	11.06	11.17	10.94	10.58	10.40	10.35	9.92	10.03	9.88	9.60	9.63	9.45	9.47	9.37	9.12
立ち幅跳び (cm)	110.26	107.37	107.99	120.91	119.51	120.55	131.65	130.04	129.47	142.64	137.05	139.84	148.01	149.23	147.45	154.28	155.09	156.68
ボール投げ (m)	5.86	5.93	5.80	8.00	7.85	7.71	10.27	10.31	9.94	12.83	12.62	11.90	14.56	15.13	14.40	16.88	16.59	16.33

中学生	男子									女子								
	1年生			2年生			3年生			1年生			2年生			3年生		
	H30市	H29県	H29全国	H30市	H29県	H29全国	H30市	H29県	H29全国	H30市	H29県	H29全国	H30市	H29県	H29全国	H30市	H29県	H29全国
対象	H30市	H29県	H29全国	H30市	H29県	H29全国	H30市	H29県	H29全国	H30市	H29県	H29全国	H30市	H29県	H29全国	H30市	H29県	H29全国
握力 (kg)	23.76	24.01	24.07	28.53	29.73	29.75	32.96	34.37	34.90	21.29	21.61	21.71	23.67	23.81	24.22	25.18	25.19	25.59
上体起こし (回)	23.42	23.60	24.64	27.05	27.30	28.08	29.73	29.82	30.44	20.77	20.15	21.29	23.99	23.86	23.96	25.20	24.65	25.03
長座体前屈 (cm)	38.41	39.32	39.70	42.39	43.20	43.95	47.69	46.61	47.73	42.80	43.35	42.87	45.17	45.56	46.25	47.55	47.45	48.15
反復横跳び (点)	48.97	48.51	49.96	51.52	51.72	53.45	53.83	54.63	55.92	46.14	45.11	45.95	48.15	46.63	47.73	48.70	47.11	48.56
20mシャトルラン (回)	69.54	71.19	72.11	84.61	89.32	89.93	92.31	96.25	96.64	52.83	54.14	53.12	58.00	62.92	61.52	57.95	61.77	61.19
50m走 (秒)	8.62	8.54	8.42	7.97	8.00	7.80	7.66	7.57	7.44	9.14	9.15	8.93	8.87	8.74	8.66	8.81	8.68	8.58
立ち幅跳び (cm)	178.92	180.71	181.24	197.63	198.60	199.64	209.40	212.63	212.56	165.40	165.10	166.19	170.44	168.29	172.06	173.04	171.15	173.83
ボール投げ (m)	17.88	18.06	18.29	20.57	20.50	21.29	22.47	23.75	23.82	11.54	11.64	12.16	12.78	12.77	13.35	13.32	13.92	14.43
持久走 (秒)	434.52	424.62	412.66	407.41	381.67	377.19	375.38	374.63	365.36	285.88	294.36	292.07	285.51	275.62	278.62	283.08	280.04	281.52

出典：全 国／全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果（スポーツ庁）
 山形県／山形県体力・運動能力調査結果（山形県教育庁）
 酒田市／山形県体力・運動能力調査結果（酒田市教育委員会）

第3章 基本方針・基本施策

1 基本的な考え方

スポーツ基本法の前文に謳われているように、スポーツは、体を動かすという人間の本源的な欲求に応え、精神的充足や楽しさ、喜びをもたらすという内在的な価値を有するとともに青少年の健全育成や地域社会の再生、心身の健康の保持増進、社会経済の活力の創造など、生活において多面にわたる役割を担うものです。

このようなスポーツの役割の重要性を踏まえ、多くの市民が「する」「みる」「ささえる」といったさまざまな形でスポーツに参画し、幸福で豊かな生活を営むことができる社会を創出するため、本計画においては、次の4つの基本目標を立て、「スポーツを楽しみ、健康で魅力あるまち酒田」を目指して、スポーツの推進に取り組んでいきます。

2 施策体系

【基本理念】

「する」「みる」「ささえる」～スポーツを楽しみ、健康で魅力あるまち酒田～

【基本目標】

【推進項目】

I 誰もが楽しめる 生涯スポーツ	(1) 誰もが楽しめるスポーツ機会の創出 (2) 子どものスポーツ活動の推進 (3) 18歳からのライフステージに応じたスポーツ活動の推進 (4) 障がい者のスポーツ活動の推進
II 感動と活力に満ちた 競技スポーツ	(1) トップアスリートの育成・強化の推進 (2) 競技スポーツに対する推進体制の充実 (3) トップレベルのスポーツに触れる機会の創出
III スポーツによる 賑わいとまちづくり	(1) スポーツツーリズムの推進 (2) スポーツを通じた地域コミュニティの維持・再生 (3) ホストタウン登録におけるニュージーランドとの交流
IV 安全安心な スポーツ活動のための 環境整備	(1) スポーツ施設の整備等 (2) スポーツ施設の利用促進 (3) 安全なスポーツ活動の推進

3 基本目標・推進項目

基本目標Ⅰ 誰もが楽しめる生涯スポーツ

年齢や性別、障がいの有無に関係なく、市民誰でも気軽にスポーツを「する」「みる」「ささえる」活動を楽しむことで、心身の健康の保持増進と健康で活力に満ちた長寿社会の実現を目指します。

《現状と課題》

(1) 生涯スポーツ*10

市全体のスポーツ振興を見たとき、地区ごとに活動に温度差があります。コーディネーターの役割を担うスポーツ推進委員は、各種研修へ参加するなど、自ら資質向上に取り組んでいく必要があります。

総合型スポーツクラブの活動については、関係団体と本来のあり方や支援方法の検討が必要となっています。

また、高齢者のみの世帯が増加し、運動習慣のある高齢者の割合も少ないことから、さまざまな活動を通して地域との関わりを増やすといったことに取り組む必要があります。

(2) 子どもの基礎的運動能力

本市では、幼児期における「遊び」を通じたあらゆるスポーツの基礎となる基本動作を体験させる運動遊び場を定期的に開催しています。幼児期に限らず、次世代を担う子どもたちに日常的に運動・スポーツを実施する習慣や多様な体の動きを身に付けさせる機会を増やし継続させることが必要です。

一方、スポーツ少年団や運動部活動において、過度な活動による児童・生徒の心身の疲弊、健康を害するなどの問題が顕在化していることから、指導・運営に係る体制を再構築していく必要があります。

◆推進項目

I－(1) 誰もが楽しめるスポーツ機会の創出

多くの市民が生涯にわたり気軽にスポーツに親しむための環境づくりと、関係団体等と連携した指導者養成により生涯スポーツの推進を図ります。

○施策

① 体育振興会・総合型地域スポーツクラブの活動の推進

地域で主体的に活動している体育振興会を支援し、地域におけるスポーツ活動の活性化を図ります。また、総合型地域スポーツクラブの活動に対し、研修機会や情報提供

*10 健康の保持増進やレクリエーションを目的として、いつでも、誰でも、どこでも気軽にスポーツに参加できるスポーツ。

などの側面的な支援をします。

②多世代が参加できるスポーツイベントの開催

地域のコーディネーターの役割を担うスポーツ推進委員の各種研修への参加を充実させ、資質向上と地域で活躍する人材の育成・活用を図り、多世代が参加できるスポーツイベント等を開催します。

③地域スポーツ活動の充実

地域スポーツ活動を支える指導者とスポーツボランティア^{*11}を育成し、地域スポーツ活動の充実を図ります。

④ニュースポーツ^{*12}の普及

これまでスポーツに関わりが少なかった市民がスポーツを始めるきっかけとして、気軽に取り組めるニュースポーツの普及に取り組みます。

◆推進項目

I - (2) 子どものスポーツ活動の推進

多くの子どもがスポーツの楽しさを知り、夢を持って取り組むすばらしさを体験させることにより、日常的にスポーツに取り組む習慣を身に付け、子どもの体力向上を図ります。

また、運動部活動を取り巻く様々な課題解決に向け「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」（平成30年3月スポーツ庁策定）に則り、スポーツ医・科学^{*13}をはじめとするスポーツ環境におけるあらゆる情報を基にした見地から、中学生、高校生にとって望ましいスポーツ環境の整備に取り組みます。

○施策

①乳幼児の運動遊びの充実

市内の保育園・認定子ども園・支援センター等と連携し、「もっと遊べ酒田の子ども」の運動テキストを普及させ、子どもの体力向上への取り組みを推進します。

②児童・生徒のスポーツ活動の充実（指導力向上・指導体制の充実）

児童・生徒がそれぞれの興味・関心に応じてスポーツができる環境をスポーツ少年団、学校、地域等と連携して形成し、運動を「する」「しない」の二極化の解消に積極的に取り組みます。また、児童・生徒に対する安全かつ効果的な指導のために、スポーツ活動地域のスポーツ指導者の積極的な活用等による指導体制の充実を図ります。

*11 報酬を目的とせず、自分の労力、技術、時間などを提供して地域社会や個人・団体のスポーツ推進のための活動を行う人。

*12 体力、技術、性別、年齢に左右されず、誰でも気軽に楽しむことができる軽スポーツの総称。

*13 競技スポーツ選手の身体能力の強化、好成績を出すため身体の使い方、故障の予防、治療などを取り扱う、総合的な専門医学分野。

③アクティブ・チャイルド・プログラム（ACP）^{*14}の実施

日常的に運動・スポーツを実施する習慣を子どもたちに身に付けさせるため、関係団体等との連携により、多様な体の動きを習得する運動遊びプログラムとして知られるACPのプレイリーダーや指導者を養成し、ACPの普及、活用の促進を図り、保護者や保育者への幼児期における運動遊びの重要性についての意識付けを図ります。

④スポーツの楽しさや夢を持つすばらしさを伝える取り組み

子どもにスポーツの楽しさや夢を持つすばらしさを伝えるイベント等を実施し、スポーツに親しむきっかけづくりや能力を育てる取り組みを進めていきます。また、子どものスポーツに携わる指導者の養成にあたり、スポーツに対する意欲や楽しさが増すような指導が実践されるよう充実を図ります。

⑤運動部活動の望ましい環境の整備

生徒の「健全育成」、「競技力・技術力の向上」、「過度な活動による心身の疲弊」や保護者の「期間的・経済的負担の増加」などの様々な課題解決に向けて、「酒田市中学校部活動等ガイドライン」を整備し、学校教育の一環として行われる運動部活動に係る体制を見直します。

◆推進項目

I－(3) 18歳からのライフステージに応じたスポーツ活動の推進

市民がそれぞれのライフステージに応じて運動に取り組める環境の整備と、運動をしていない人への積極的な働き掛けを進めます。

○施策

①子育て世代のスポーツ活動の充実

市体育協会等と連携し、先進事例の活用等により、親子スポーツ教室の開催など、親子一緒に体を動かす機会の充実を図ります。手軽に取り組めるヨガやピラティスをはじめとする軽スポーツをきっかけとして、スポーツに参画しやすい環境の整備に努めます。

②働き世代のスポーツ活動の充実

通勤時のウォーキングなどもスポーツであるという認識を普及させ、生活習慣病を改善するため、スポーツに取り組む習慣づくりを進めます。

③高齢者のスポーツ活動の充実

スポーツ活動には生活習慣病の改善や介護予防等の効果が期待されるため、自らが

^{*14}平成22年度に文部科学省が公益財団法人日本スポーツ協会に委託し作成した、子どもが発達段階に応じて身につけておくことが望ましい動きや身体を操作する能力を獲得し、高めるための運動プログラム。

その効果を感じながら、高齢者が無理なく継続して取り組める環境づくりを図ります。

◆推進項目

I - (4) 障がい者のスポーツ活動の推進

障がいのある人の運動習慣の推進と社会参加を目指し、それぞれの状況に応じて気軽にスポーツを楽しむことができるよう、関係機関・団体と連携しながら、障がい者のスポーツ活動を推進します。

○施策

①障がい者スポーツの理解を広める

障がい者スポーツの理解を広めるため、体験会等の機会を提供します。

②障がい者スポーツの環境づくり（場の確保・種目の普及）

公共スポーツ施設において、障がい者を含む全ての市民が楽しく気軽に安全にスポーツ活動を楽しむことができるように、ユニバーサルデザイン化^{*15}に努めます。

③障がい者スポーツ指導者資格の取得

スポーツ推進委員による障がい者スポーツ指導者資格の取得を進めます。

④地域団体・競技団体との連携・協力

市障がい者福祉会や県障害者スポーツ協会と連携・協力し、障がい者が継続して活動することができるように支援します。

【数値目標】

スポーツ実施率 成人の週1回以上のスポーツ実施率	⇒	60% (H29: 31.0%)
週3回以上のスポーツ実施率	⇒	30% (H29: 14.4%)
子ども（小学生）のスポーツ実施率	⇒	85% (H30: 78.3%)
スポーツや運動が好きである子ども（小学生）	⇒	85% (H30: 77.7%)
スポーツや運動が好きである子ども（中学生）	⇒	75% (H30: 66.3%)
スポーツや運動が嫌いである子ども（中学生）	⇒	8% (H30: 10.2%)
スポーツ行事への参加者数	⇒	38,000人 (H28: 36,180人)

^{*15} 障害の有無に関わりなく、すべての人にとって、使いやすいように予め意図されてつくられている建物や製品、情報、環境等のデザイン。

基本目標Ⅱ 感動と活力に満ちた競技スポーツ

全国（世界）レベルで活躍できる選手を継続的に輩出することにより、感動と活力に満ちた競技スポーツの推進を目指します。

《現状と課題》

全国に通用するトップアスリートを育成するために、中学校や高等学校におけるスポーツ環境の整備及び選手の育成と強化が課題となっています。

本市では、トップアスリートを含めた若者の県外への流出や、県内に戻ってくるための環境が十分でないことなどが課題となっていることから、関係課及び経済界と連携して、トップアスリートの就職支援に向けた取組みが必要です。

また、国内における競技水準が年々向上しており、全国（国際）レベルで活躍するトップアスリートを育成できる高度な専門的知識と高い指導力を持つ指導者の養成・確保、併せて次代を担う若手指導者の養成・確保が喫緊の課題となっています。

◆推進項目

Ⅱ－（１）トップアスリートの育成・強化の推進

各スポーツ団体や体育協会加盟団体等と連携し、トップアスリートと指導者の育成・強化を推進していきます。全国（世界）レベルで活躍する地元選手を育成することで、市民へ感動と活力を届け、市民のスポーツへの興味関心を高めていきます。

○施策

① Raised in fun Sakata（レイズド・イン・ファン・サカタ）の選手育成^{*16}

全国（世界）レベルで活躍する選手の継続的な輩出に向けて、地元指導者の手によるジュニア選手の一貫した指導体制を構築していきます。

②指導者・審判員の資質向上

中央競技団体等が開催する指導者講習会を通じて、トップアスリートを育成できる高度な専門的能力を有する指導者の養成・確保を図ることにより、競技力向上と一貫した指導体制の確立を推進していきます。同時に、審判員の資質向上を図ることにより、さらなる競技力向上へつなげていきます。

^{*16} 幼少期からスポーツの楽しさを教えるとともに一貫指導体制の実現により、全国トップレベルの大会で活躍できる競技力の高い選手を育成する取り組み。

◆推進項目

Ⅱ－（２）競技スポーツに対する推進体制の充実

トップアスリートが全国（世界）の舞台で活躍できるように、医・科学的トレーニング等のサポート体制を充実させていくとともに、競技団体や関係機関等との連携を密にして、トップアスリートの活動を支える競技スポーツに対する推進体制の充実を図っていきます。

○施策

①地元企業、地域密着型プロスポーツチームとの連携

スポーツ振興に理解のある地元企業チーム「アランマーレ山形^{*17}」や「モンテディオ山形^{*18}」などのプロスポーツチームと連携を図り、次世代を担うジュニア選手や若手指導者の育成を図っていきます。

②スポーツ人材の活躍の促進

全国大会等へ出場する市民へ賞賜金を交付したり、国際大会や全国大会等で優秀な成績を収めた市民を表彰するなど、市民のスポーツへの関心を高めていきます。

③サポート体制の充実

競技スポーツ選手の効果的なスポーツ活動をサポートするため、スポーツドクターやトレーナー等と連携して、医・科学的トレーニングやメンタル面等のサポート体制の充実を図っていきます。

◆推進項目

Ⅱ－（３）トップレベルのスポーツに触れる機会の創出

トップレベルのスポーツに触れる機会を数多く創出して、市民の「みる」スポーツへの興味と関心を高めていきます。

○施策

①トップアスリートが参加する全国大会・東北大会等の開催誘致

小中学生などの全国大会・東北大会や実業団大会等を広域的な視点で計画的に開催誘致し、大会準備や競技運営を通して競技水準の更なる向上に取り組むとともに地域の活性化を推進します。

併せて、大会開催を契機として、各競技団体や地域における人材育成やスポーツ環境

*17 株式会社プレステージ・インターナショナルが設立した、本市に拠点を置く女子バレーボールチーム

*18 山形市、天童市、鶴岡市を中心とする山形県全県をホームタウンとする、日本プロサッカーリーグ（Ｊリーグ）に加盟するプロサッカークラブ。

の整備を図っていきます。

②大会（競技）情報の積極的発信

市民がトップレベルの競技力を間近で観戦できるよう、市内で開催される競技大会等の情報について、市ホームページや市広報紙「私の街さかた」、酒田FM放送などを活用しながら積極的に情報発信していきます。

③スポーツボランティアの育成・支援

「酒田つや姫ハーフマラソン大会」や「みなと酒田トライアスロンおしんレース大会」などをはじめとする市内で開催されるスポーツイベントをサポートするスポーツボランティアの育成・支援を推進していきます。

【数値目標】

国民体育大会への出場種目数 ⇒ 20 種目以上（H30：19 種目）

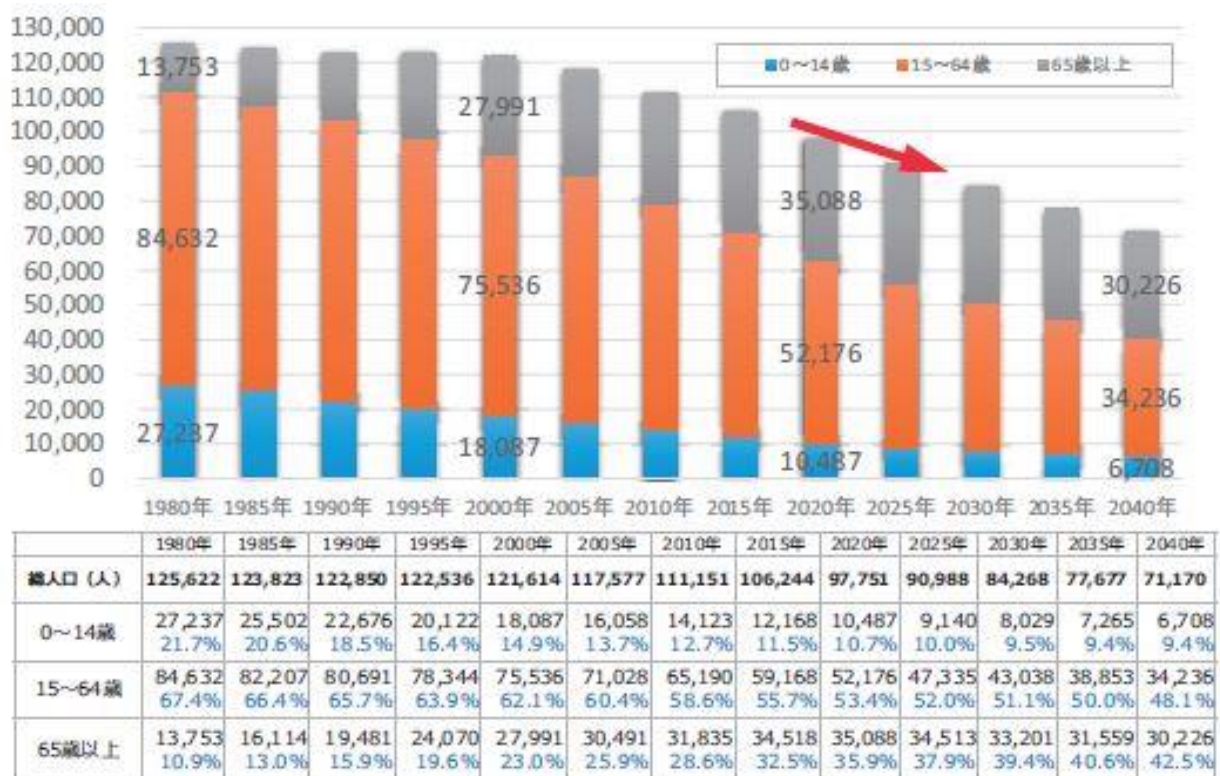
基本目標Ⅲ スポーツによる賑わいとまちづくり

本市には、「酒田つや姫ハーフマラソン大会」や「みなと酒田トライアスロンおしんレース大会」など特色のあるスポーツイベントが根付いています。これらのスポーツイベントを通して、スポーツの持つ力を最大限に活かし、賑わいとまちづくりを推進します。

《現状と課題》

急激な人口減少が既に始まっており、国立保障・人口問題研究所の推計では、2040年には本市の総人口は71,170人となり、高齢化率も4割を超えることが予測されています。

街の賑わい創出のため、スポーツイベントの開催による交流人口の拡大を図り、地域の活性化に繋げることが必要となっています。また、スポーツボランティアを募り、スポーツへの関心を高める必要があります。



◆推進項目

Ⅲ－（１）スポーツツーリズム^{*19}の推進

本市の多彩な自然環境やスポーツ資源を活かし、スポーツを通じた交流人口の拡大を図るとともに、スポーツによる賑わいとまちづくりを推進します。

○施策

①大規模スポーツイベントの誘致・開催

「酒田つや姫ハーフマラソン大会」や「みなと酒田トライアスロンおしんレース大会」をはじめとする市内で開催されるスポーツイベントの参加者に対し、「酒田の魅力」を伝え、スポーツを通じた交流人口の拡大を図ります。また、全国や東北大会等の大規模スポーツイベント開催への補助金の交付を引き続き行い、市内での合宿についても利用者のニーズを踏まえながら、競技力の向上や交流人口の拡大の観点から支援の方法を検討します。

◆推進項目

Ⅲ－（２）スポーツを通じた地域コミュニティの維持・再生

コミュニティ振興会が主催する運動会などのスポーツイベントを通じ、世代間交流や地域一体感の醸成、災害時にも支え合う地域コミュニティの維持・再生を促します。

○施策

①市民参加型のスポーツイベントの充実

コミュニティ振興会が主催する運動会等の住民参加型のスポーツイベントの実施により、住民のスポーツの習慣化、関係団体や住民間の協力体制の強化、地域の活性が図られるよう支援します。また、「市民体育祭」をみんなが参加したいと思える内容に充実させ、市全体のスポーツ機運の醸成と地域の賑わいを創出します。

②トップアスリート等との連携・協力の推進

本市・本県を拠点に活動する企業チーム（アランマーレ山形）やプロスポーツチーム（モンテディオ山形等）などと連携・協力をさらに強め、市民の運動・スポーツ活動への参加意欲を高め、スポーツを通じた地域コミュニティの維持・再生を図ります。

^{*19} スポーツの観戦やスポーツイベントへの参加と、開催地周辺の観光とを融合させ、交流人口の拡大や地域経済への波及効果などを目指す取り組み。

◆推進項目

Ⅲ－（３）ホストタウン登録*20におけるニュージーランドとの交流

本市は、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会のホストタウン構想*21に基づき、ニュージーランドのホストタウンとして登録され、事前合宿誘致等に取り組んでいます。関係団体等と連携し、相互訪問や交流の受入を行い、活力ある地域づくりの促進とスポーツによる交流人口の拡大を図ります。また、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会後もその波及効果が持続するよう取り組みます。

○施策

①2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の事前合宿誘致とサポート体制の確立

大会開催時の事前合宿誘致に取り組み、スポーツを通じた交流の拡大を図るとともに関係団体等との連携を強化することにより、市民の一体感の醸成と活力ある地域社会の実現を目指します。

②ホストタウン構想に基づく各種交流事業の展開

ホストタウン構想に基づき、行政、競技団体、観光団体、企業、教育・医療機関等が連携し、ニュージーランドとのスポーツ交流をはじめとする各種交流事業を展開します。

【数値目標】

酒田つや姫ハーフマラソン大会・みなと酒田トライアスロンおしんレース大会における 交流人口（市外・県外） ⇒ 1,600人（H30：1,415人）
--

*20 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向け、内閣官房で、交流人口の増加や地域の活性化、観光振興等に資する観点から、参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図る地方公共団体を「ホストタウン」として登録している。

*21 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向け、全国の自治体と参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図るとともに、スポーツ立国、共生社会の実現、グローバル化の推進、地域の活性化、観光振興等に資する観点から、政府全体で推進している取り組み。

基本目標Ⅳ 安全安心なスポーツ活動のための環境整備

市民が気軽に安全安心にスポーツ活動を行うとともに、競技力の向上や大会誘致等による交流人口の拡大を図っていくため、市民ニーズに応じた施設の改修・整備を検討します。

また、市民が年間を通して運動・スポーツを行うことができるよう、学校体育施設等の更なる有効活用を検討します。

《現状と課題》

人口減少による施設利用者の減少が見込まれることから、適正な施設配置を考慮する必要があります。財政状況が厳しい中にありますが、施設の老朽化が進んだものや耐震補強工事未実施のものもあり、安全で快適なスポーツ環境を提供するため、施設の適正な管理と計画的な改修を行う必要があります。

◆推進項目

Ⅳ－（１）スポーツ施設の整備充実等

競技力向上や大会誘致等による交流人口の拡大を図るため、スポーツ施設の適正な配置の検討、指定管理者制度^{*22}を運用した効率的なスポーツ施設の運営を推進します。

○施策

①スポーツ施設の適正な配置

適正な配置に向けた施設の統廃合を視野に入れ、「酒田市公共施設等総合管理計画」（平成 29 年度策定）に基づき、市民ニーズを反映させ、また、長寿命化を図りながら中長期的な視点から計画的な施設の改修・整備を検討します。

個別の施設の課題や統廃合を含めた改修方針、実施時期については、関係各課と協議の上、本計画のアクションプランと位置付け、早期の策定を目指します。

②効率的なスポーツ施設の運営

スポーツ施設の管理運営に民間のノウハウ等を活用する指定管理者制度を継続運用し、市民サービスの向上と行政コストの縮減を図るなど効率的なスポーツ施設の運営に取り組みます。

^{*22} 地方公共団体が所管する公の施設の管理・運営を、民間事業者等に委託することで、民間等のノウハウを導入し、管理・運営の効率化を目指すもの。

^{*23} 特定の公共事業に必要な経費にあてるため、その事業によって特別の利益を受ける者に経費の一部を負担させること。

また、施設使用料については適正な受益者負担^{*23}を求め、持続可能な施設運営に努めます。

③スポーツ施設の環境改善

施設利用者の安全確保のため、耐震化を早急に進めるとともに、年齢や性別、障がいの有無に関わらず、スポーツに親しむことができるよう、洋式トイレへの改修などバリアフリー^{*24}やユニバーサルデザインに配慮した施設の改修・整備に努めます。

◆推進項目

IV－（２）スポーツ施設の利用促進

市民が運動・スポーツを行うことができるよう、身近な生活圏にある学校体育施設（体育館やグラウンド等）の活用について検討します。

○施策

①学校体育施設開放事業の充実

地域のスポーツ団体の活動を推進するため、学校と連携を図りながら利用方法の見直しを含め、運営の手法を検討し、小中学校体育施設の開放事業の充実を図ります。

②年間を通してスポーツができる環境づくり

市民が年間を通して運動・スポーツを行うことができるよう、大学施設等の活用について設置者と協議しながら身近で運動・スポーツのできる場の確保に努めます。また、身近な運動・スポーツを行うことができる場所の情報提供・発信を積極的に推進します。

③スポーツ施設の管理と利便性の向上

市民がより使いやすいスポーツ施設を目指して、予約管理システムの運用を見直し、予約の利便性の向上と施設利用の効率化を図ります。

◆推進項目

IV－（３）安全なスポーツ活動の推進

安心してスポーツ活動を行えるよう、安全なスポーツ環境を整え、スポーツによって生じる事故・傷害等の防止や軽減を図っていきます。

○施策

①指導者・審判員の育成・養成

スポーツ活動を行う上でけがをしないための身体づくりの重要性が叫ばれています。指導者や審判員が身体づくりの大切さを学ぶことによって、安全にスポーツ活動を行

^{*24} すべての人が自由に行動し、社会参加をする上で妨げとなる物理的、制度的、社会的及び心理的な様々な障壁を作らないこと及び取り除くこと。

うとともに、競技中のけがを未然に防ぐ研修会や講習会を開催します。

②環境整備

スポーツ大会時の突発的な事故や病気等に備え、関係者への救命救急（AED）講習会の実施、AED等の備品の整備を進めます。

③スポーツ事故防止・障害予防講習会等の実施（スポーツドクターとの連携）

指導者やクラブマネージャー^{*25}、スポーツ施設の管理者等を対象として、スポーツドクター^{*26}と連携して、スポーツによって生じる事故・傷害等に関わる最新のスポーツ医・科学的な知見を学習するための研修会を実施します。

【数値目標】

スポーツ施設の利用者数 ⇒770,000人（H29：758,144人）

*25 スポーツクラブの財務状況や会員数、活動状況等、クラブ全体について把握し、マネジメントを行う人。

*26 スポーツを主な原因とする傷害や疾病の診断・治療にあたる専門の医師。

第4章 計画の推進・進捗管理

1 計画の推進体制

本計画の推進にあたっては、現在、市教育委員会を中心にスポーツ施策に取り組んでいますが、スポーツ施策が多様化してきていることから、行政組織内で横断的に施策の推進調整を行います。

酒田市体育協会を軸とした各競技団体、小学校・中学校体育連盟、スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブ等、それぞれの特色を活かした活動を展開します。

併せて、地域に密着した学区体育振興会、スポーツ推進委員により地域のスポーツ活動をさらに推進します。

市教育委員会及び地域・スポーツ団体は、それぞれの役割を果たしながら、連携協力しながら取り組みを進めます。

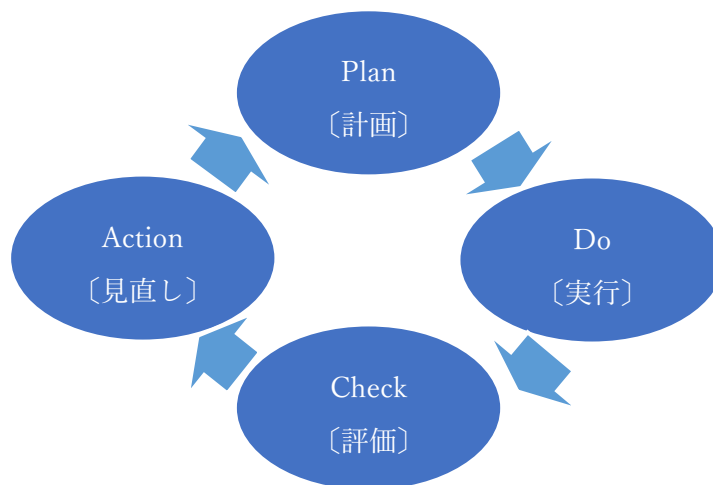
本計画の進捗管理については、推進項目ごとに数値目標を設定し年次ごとに進捗管理を行い、酒田市スポーツ推進審議会へ計画の進捗状況の報告を行います。

また、計画内容の見直しにあたっては、社会情勢やスポーツ界の変化等を踏まえ、着実かつ効果的な改善方策を検討することとします。

2 計画の進捗管理

本計画は、計画の進捗状況、社会経済情勢、国の政策動向等の変化に対応するため、策定後5年を目処に中間見直しを行います。

また、本計画の目標の実現に向けて、PDCA サイクル^{*27}を導入し、市スポーツ推進審議会に諮りながら、必要に応じて具体的な取り組み内容や予算の見直し等、計画の進捗管理を行います。



*27 Plan（計画）－Do（実行）－Check（評価）－Action（見直し）を順に実施する管理手法。